

# 海外進学に関する意識調査 結果のご報告

図書印刷株式会社・スクールソリューション

# はじめに ～アンケート調査概要

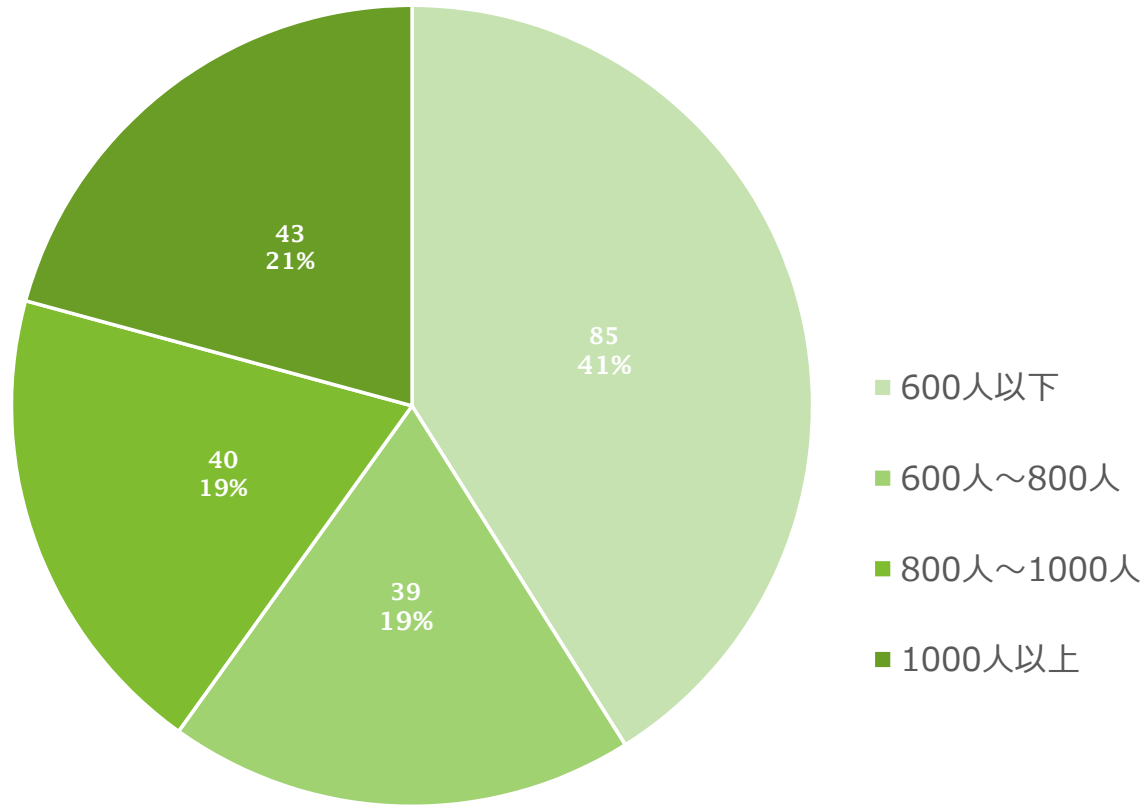
2020年度以降、新型コロナウイルス感染拡大に起因する渡航制限により、全国の高等学校は海外への研修旅行や留学、進学計画の中止・変更を余儀なくされました。現在、一部の国では留学生の受け入れを再開し、国内でもワクチン接種が広まり、徐々に渡航再開の兆しが見え始めています。

本調査では、各学校の海外進学指導の取り組み状況、海外進学への意識を把握することを目的とし、調査結果を報告いたします。

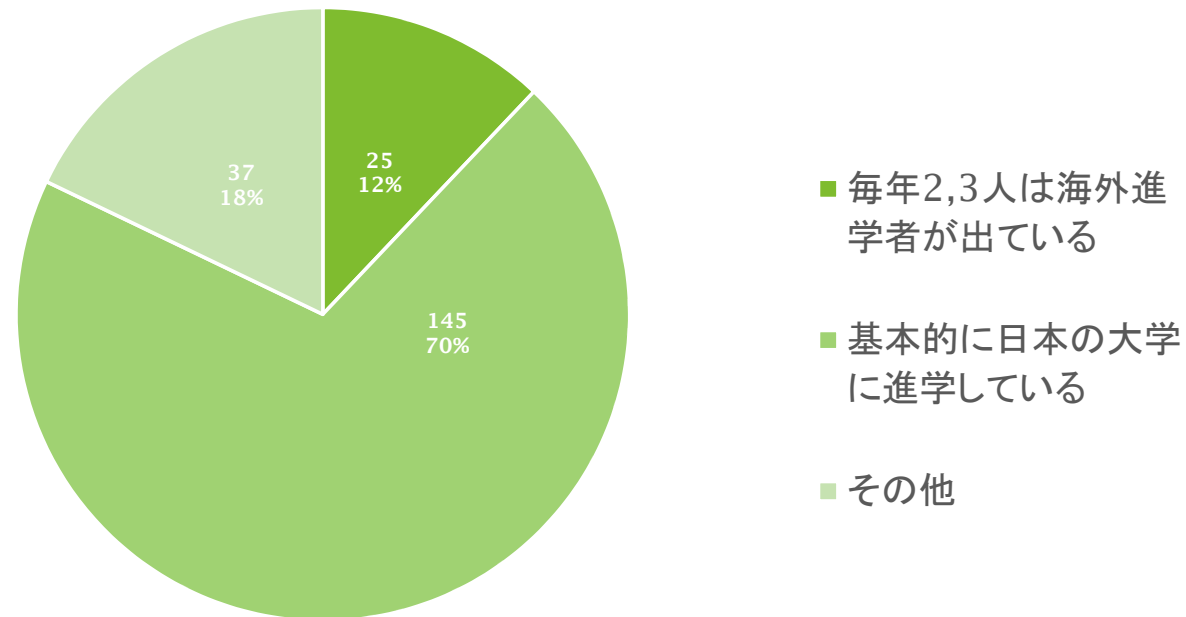
## 【調査概要】

- ・調査テーマ: 全国の高等学校における海外進学に関する意識調査
- ・調査対象: 全国の高等学校
- ・調査期間: 2022年4月～5月
- ・調査方法: FAX
- ・回答数: 206校

# 回答校・属性



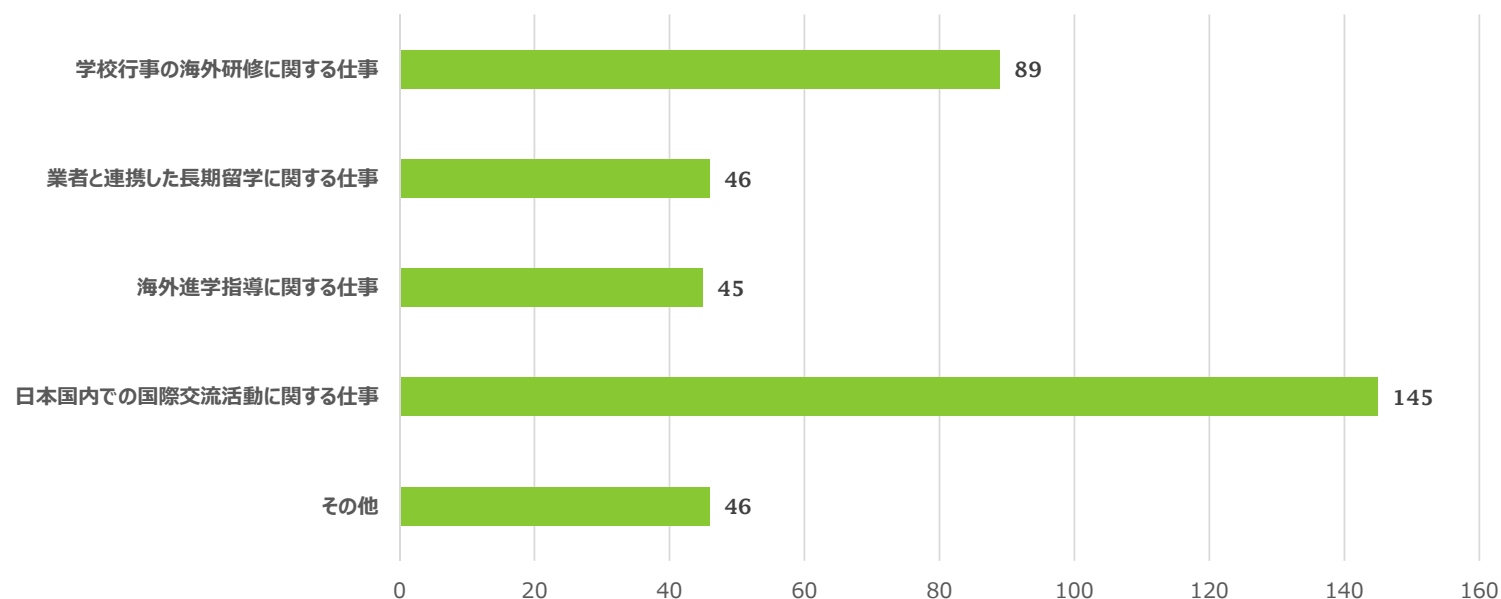
## 現状の生徒の進路



7割の学校の生徒は基本的に日本の大学に進学。  
毎年2, 3人の海外進学者が出ている学校は1割程度。  
→全体的に見て、まだまだ海外進学は縁遠い？

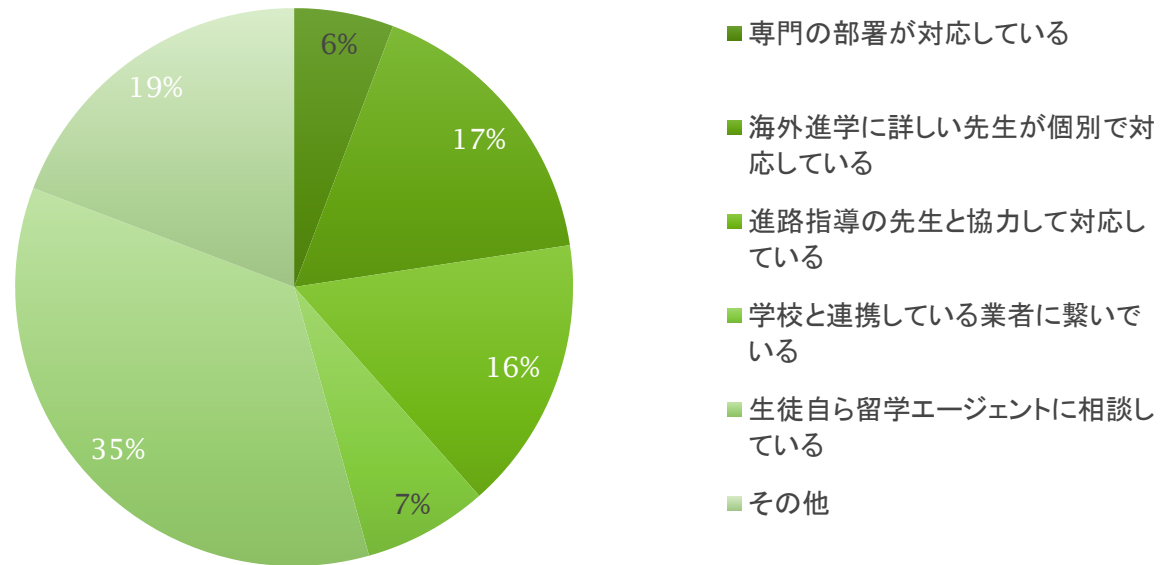
## 国際関連の担当の先生の職務範囲

5



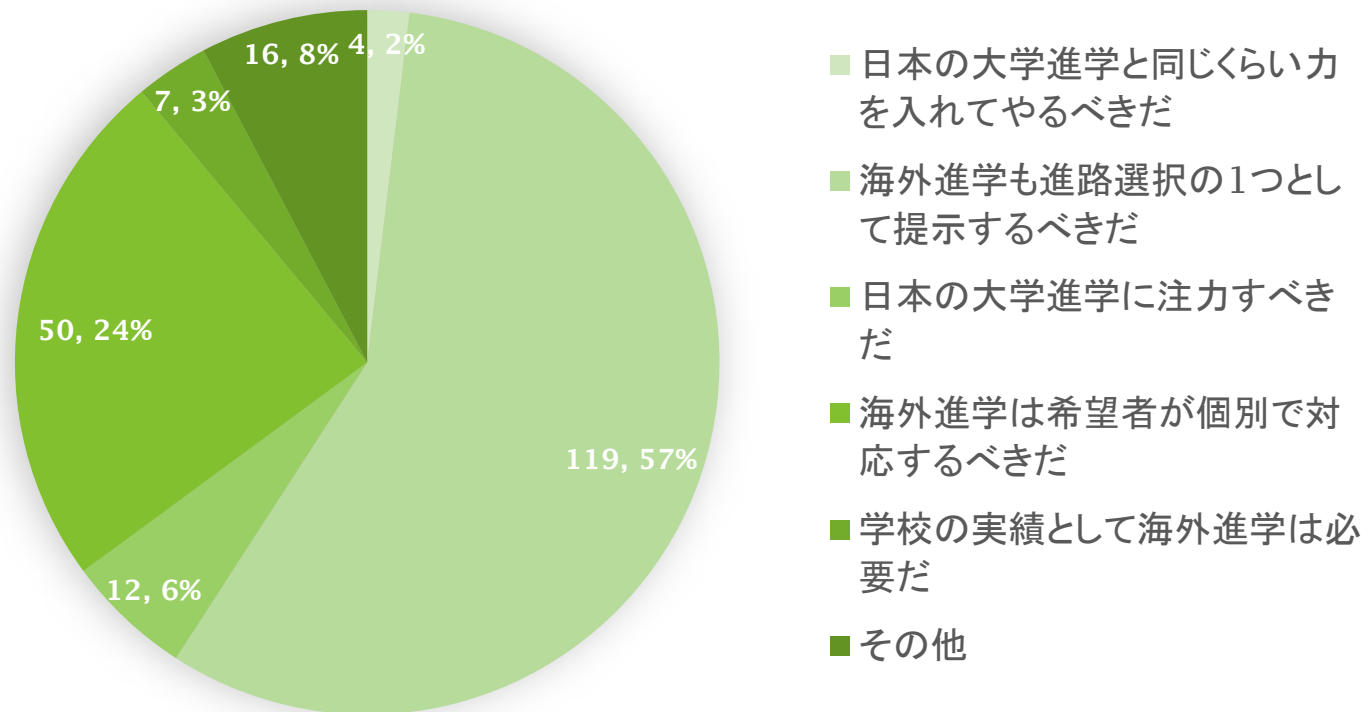
日本国内での国際交流活動に関する仕事、学校行事の海外研修に関する仕事が職務範囲の多くを占める傾向がみられる

## 海外進学希望者への対応



学校内部の専門部署での対応を行える学校はごくわずか。  
知識のある先生が個別に対応しているほか、  
外部の留学エージェントの力を借りていることも多い。

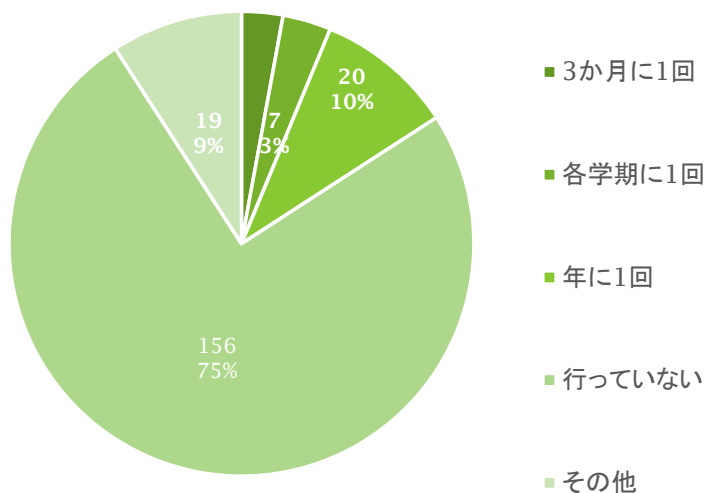
## 生徒への海外進学指導の位置づけ



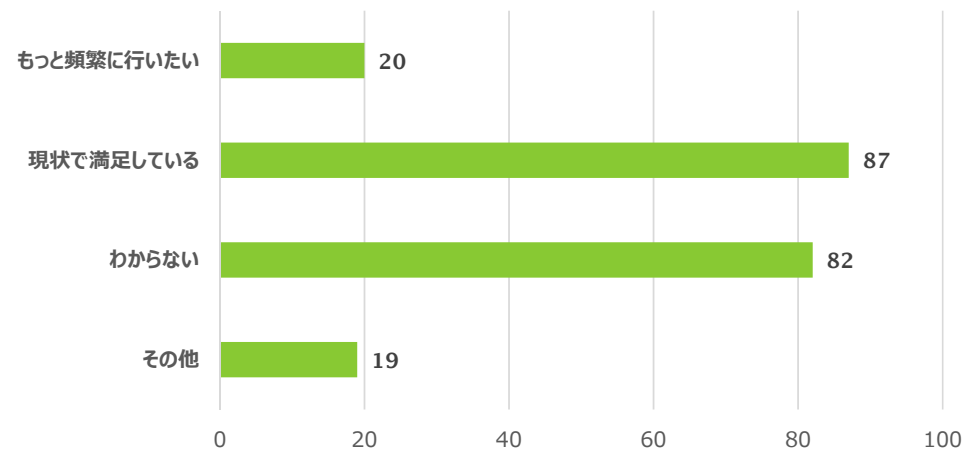
約6割の先生が、海外進学を進路選択の1つとして提示すべきだと回答

# 海外進学に関するイベント

現状の頻度



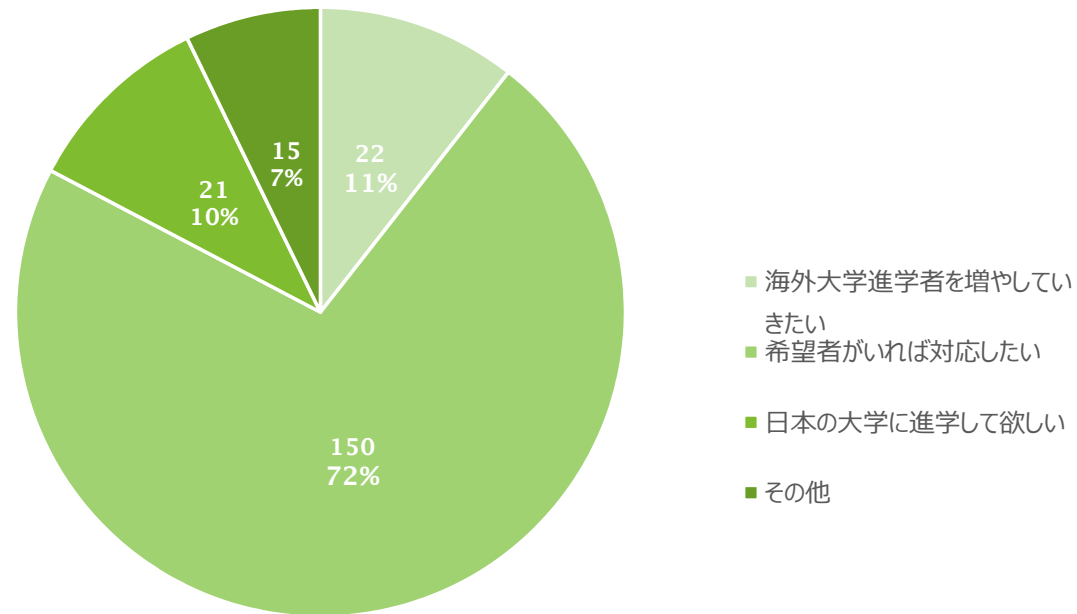
今後どのようにしたいか



海外進学に関するイベントを実際に行っている学校は少数、  
かつ積極的に増やしたいと考えていない？



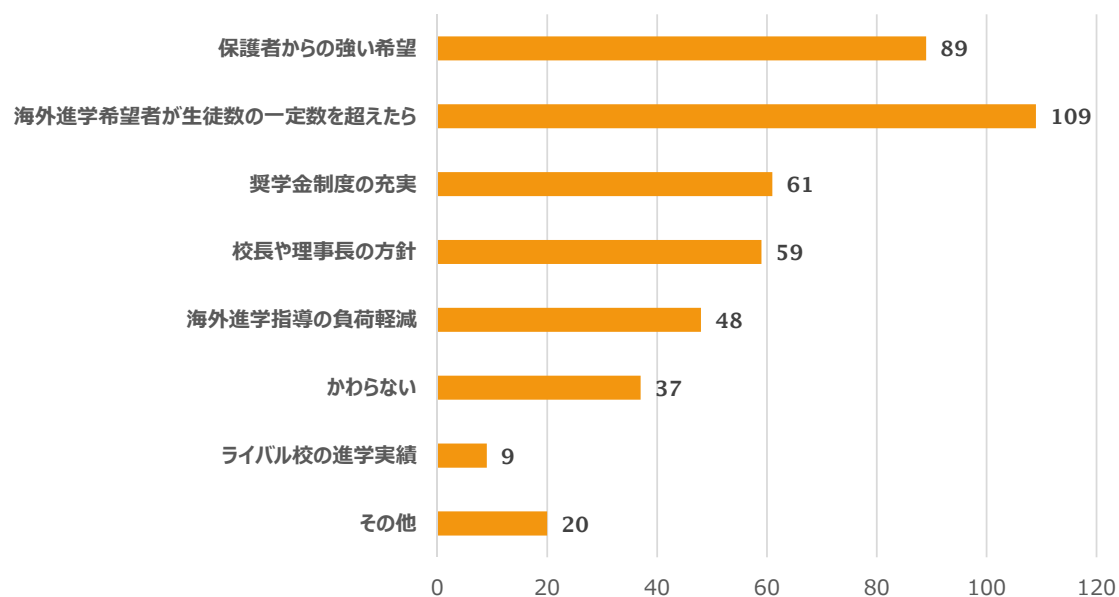
## 今後の学校としての海外進学者に対する意向



積極的に増やしていきたいと回答したのは1割程、  
希望者がいれば対応したいと答えた学校が7割強、  
合計8割は海外進学に対して好意的だが、受け身の姿勢が多い

## 海外進学者創出の優先順位が変動する要因

10



生徒の意思が一番必要。

そのほかは、保護者の意思や、校長や理事長などの方針が現場の先生を動かす要因になるようである。

ちなみに

## 国際関係の先生の業務優先順位TOP3について

### 授業の準備



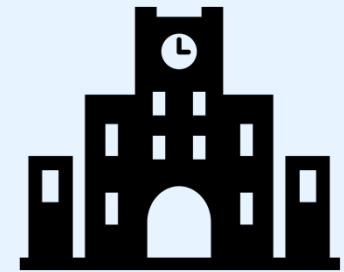
国際関連の先生は、国際担当というだけでなく英語科や教科担当と兼任している先生が多いため、授業準備が多くの割合を占めた。

### 国内の入試対策



やはり、現状の大学進学は「国内」が主流であることをデータとして物語っていることが分かる。

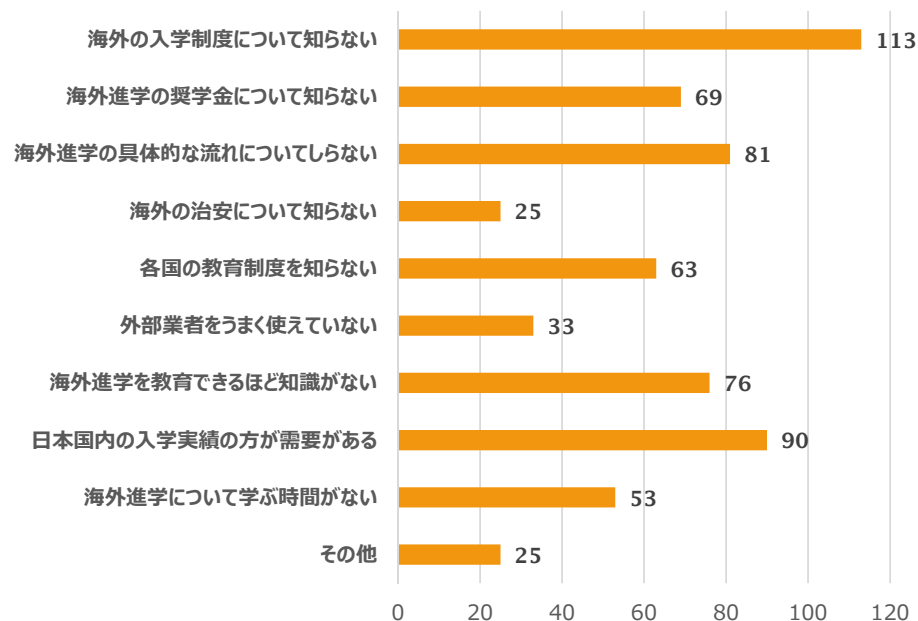
### 国内の進路指導



国内の大学でも、先生たちは全ての大学を把握しているわけではない。その状態で海外大学の進路指導に手を伸ばすにはなかなか難しい。

## 海外進学という選択肢が日本で広まらない要因 (先生の課題)

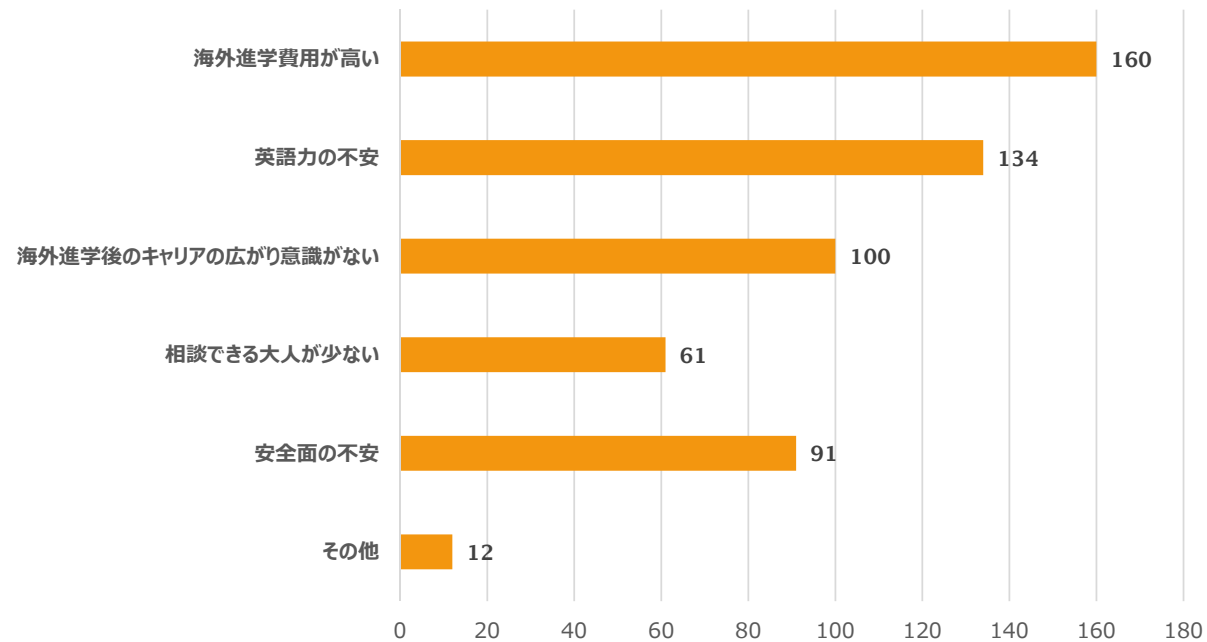
12



先生側でも体系的な知識が不足しているため、  
進路指導においても海外進学という選択肢が選ばれない？

## 海外進学という選択肢が日本で広まらない要因 (生徒・保護者の課題)

13



費用と英語力の不安が最も大きい要因となった。  
また、海外進学後のキャリアが見えていないという意見も。

## 本調査のまとめ

- ・現状、大学進学では国内が主流で海外進学はまだ希少。
- ・海外大学進学希望者に対しても、詳しい先生が個別で指導しているか、外部の業者に力を借りているという実態。
- ・学校としては、海外進学を進路の選択肢の1つとして示すべきと全体の6割が回答し、今後についても海外大学進学希望者に対する意向としては希望者がいれば対応したいと8割以上が回答している！
- ・しかし、海外進学者創出に積極的な学校は1割程にとどまり、先生の知識不足やご家庭の金銭面の負担など、まだまだ課題は多いようだ。

## 図書印刷だから出来ること

海外進学者創出のための情報提供や制度作成のサポートを行っております。

01



スカウト制度

02



学校の推薦型選抜制度

03



海外大学進学  
ガイドブック

# お問い合わせ先



スクールソリューション

電話: 03-5843-9745

メール: [education-news@tosho.co.jp](mailto:education-news@tosho.co.jp)